

建学の理念

現代の生活者が求めているものは、医療がその原点に立ち返ることである。医療の原点とは、ただ病を治すことだけではなく、生活の中で病をとらえ、生活を通して病を克服し、さらに病にならないような健康な生活をつくりだすこと、そのための全人的援助である。すなわち人々は、医療が施設から出て自分たちの生活の中に入ってきて、その生活を心身共に援助してくれることを待望している。

言うまでもなく、そのような援助の中核となるものは、社会生活への看護福祉であり、それは勝義には看護福祉活動と称するべきものである。ここに従来の看護と福祉とが出会い、一つの統合的活動となる必然性がある。

九州看護福祉大学の設立は、こうした生活する人々の渴望に呼応して立案されたものであって、その目的は看護福祉活動についての研究及び人間的知見と能力を有した人材を育てることにある。

本学が設立されるこの地は九州の中域に位し、その教育研究活動が九州全域に翼を広げることのできる最適の地である。したがって、当地は九州の全域から人材を集め、かつ、育成することのできる要所であり、看護福祉の教育研究が発展し得る拠点となり得るものである。本学は、この地に屹立して我が熊本県城北地域の人々の看護福祉に貢献し、さらには我が国の看護福祉活動に新しい方向を示し、ひいては展望を切り開くことを目指すものである。

かくして、本学は、その教育と研究において地域の人々への全人的看護福祉活動を基盤としながら、九州全域にわたる、さらには我が国の全体にわたる看護福祉活動をも射程に入れるという目標をもち、これを以て建学の理念とするものである。

3つの基本理念

1. 「地域とともに成長する大学」
2. 「生涯にわたって学べる大学」
3. 「近隣諸国と学ぶ大学」

5つの教育方針

1. 「こころ」豊かな人間性を培い、個性を尊重する精神を養う
2. 患者並びにクライアントとコ・メディカルスペシャリストとの間の人間関係と信頼性を確保する
3. 論理的・学際的思考力を育成し、適切、かつ、柔軟性に富んだ判断力と分析力を養う
4. 国際的な幅広い視点に立ち、最新の情報収集と情報発信能力を培うとともに、国際感覚の習得と創造的・意欲的な活動力を育成する
5. 保健・医療・福祉に関する最新の知識と技術水準を向上させる

ADMISSION POLICY

(アドミッションポリシー)

■看護福祉学部

九州看護福祉大学は、看護学科、社会福祉学科、リハビリテーション学科、鍼灸スポーツ学科、口腔保健学科の5学科から成り立っており、人間の尊厳に基づく豊かな教養と高度な専門的知識・技能を備え、保健・医療・福祉のスタッフとして活動するとともに、広く社会に貢献できる質の高い専門職を養成します。

以上の観点から、本学は次のような人を求めています。

1. 人間の尊厳に共感し、人間愛を備えている人
2. 保健・医療・福祉のチームの一員として協調性と積極性を備えている人
3. 科学的探究心と学習意欲並びに行動力を備えている人
4. 社会環境に適応し、多様な価値観を受け入れる寛容性を持つ人
5. 保健・医療・福祉の仕事に熱意を持っている人

●看護学科

本学科の目的は、全人的（身体的・精神的・社会的）支援を必要としている人のために寄与できる看護の専門家を育成することです。

そこで本学科は、次のような人を求めています。

1. 人間の尊厳を尊重し、誠実に対応できる人
2. 多様な価値観を受け入れる寛容な心ある人
3. 保健・医療・福祉の仕事に熱意を持ち、チームの一員として協調性と行動力を備えている人
4. 科学的探究心と問題解決意欲を備えている人
5. 地道に学習し、向上心のある人

●社会福祉学科

毎日の暮らしの中で様々な“困りごと”を抱えた人々が、社会の一員として安心して暮らすことができるように“生活者”の視点に立って支援してゆくこと、それが社会福祉専門職あるいは社会福祉に携わる実践者の役割です。そうした人材を養成し、地域に送り出してゆくために、社会福祉学科は次のような人々を求めています。

1. 人々に温かな気持ちと思いやりを持ち、多様な価値観を受け入れつつ人々に役立つために行動したいと考える人
2. 社会福祉の理念やソーシャルワークの技法を学び、それらを活かして地域社会に貢献したいと考える人
3. 社会福祉領域や教育の資格を取得して、様々な現場で他職種と連携しつつ専門的な支援を行いたいと考える人
4. 児童、高齢者、障がい者など、支援が必要な状態にある人々のため、継続して実践を行いたいと考える人
5. 過疎地域の人々の福祉や災害時の緊急援助、海外における国際協力活動などにも関心を持っている人

●リハビリテーション学科

医療人としての原点は、人を愛することです。豊かな感性と思いやりの心で人に接することができ、健康への道のりを強い情熱で共に歩いてゆける人材を求めます。また、医療を取り囲む刻々と変化する社会情勢や関連領域の科学に対応するために、広く柔軟な思考力と秀でた分析力を持つことも必要です。このため、次のような学生を本学科は望んでいます。

1. 尊厳と愛情の心で人に接することができる
2. 常に変化・進化している医療科学を理解し、それに適応できる
3. 理学療法専門職としての知識・技術を生かすとともに、社会と積極的に関わることで健康医療福祉チームの一員としての責任を発揮できる

●鍼灸スポーツ学科

鍼灸スポーツ学科は、その対象者である“人”を理解することを基本に、鍼灸伝統医学及びスポーツ医学を主体とした保健・医療・福祉に関する専門的で高度な知識、技術についての教育研究を行い、広い視野と良識ある教養を持ち、医学的・科学的検証に必要な知識及び判断力を有し、対象者への対応能力に優れた人材を養成することを目的とします。

1. 科学的探究心と自己向上心に溢れ、豊かな個性と明確な意思を持つ人
2. 医療の原点は「人間愛」であることを理解し、その心を持つ人
3. チーム医療や鍼灸治療に反映できるような分析力、柔軟性、協調性を持つ人
4. 統合医療を担う者として、人々の健康な生活を支える意志と責任感のある人
5. 鍼灸伝統医学を研鑽する豊かな感性と知性を持つ人
6. 地域社会から国際社会まで、環境や状況を問わず自立した心と行動力のある人

●口腔保健学科

多様化する健康観とQOL（生活の質）の向上のために、“人を感じる力”、“支援力”をもとに口腔保健が持つ理論と技能を、人間のライフステージや生活の場であるコミュニティに応じて発揮できる人材を育成します。そこで、本学科では次のような人を求めています。

1. 豊かな人間性を持ち、人々の多様な健康観を理解し、共有しようとする態度を身に付けることのできる人
2. 心身の成長発達過程や生活者としての人間のありように深い関心を持ち、それらをもとに口腔保健学の高度な技術を用いて支援したい人
3. 論理的思考力を備え、口腔保健学の研究・教育を科学的探究心によって先導し、ヒューマンケアにおける新しい口腔保健活動を展開したい人

Contents

2019(平成31)年度九州看護福祉大学入学者選抜試験概要

入試カレンダー	1
出願方法について(Web出願・紙による出願)	2

I 各試験の説明

(1) AO入学試験	3
(2) 推薦入学試験	5
(3) 福祉科特別推薦入学試験	8
(4) 一般入学試験	10
(5) センター試験利用入学試験	14
(6) 社会人入学試験	19

II Web(インターネット)による出願方法

III 紙による出願方法

IV 受験ガイド(全ての試験に共通する事項)

出願手続	26
受験上の注意事項	26
合格発表	27
個人情報の取扱いについて	27
入学検定料・入学金・授業料	28
特待生制度	29
長期履修学生制度	30
2019(平成31)年度入学者選抜試験の成績開示について	30
奨学制度・修学支援	31
試験会場及び交通機関	32

V コード一覧

VI 出願書類

推薦書、志望調査書、志望理由書、活動報告書、宿泊・送迎バスのご案内

*この冊子には、出願から入学手続きまでの事項が記載してありますので、よく読んでその指示に従ってください。書き違い、思い違いのないよう十分注意してください。

*「受験上の注意事項」や「試験会場及び交通機関」等が記載されていますので、試験当日はこの「入学者選抜試験要項」を持参してください。